

異業種、マスク製造参入続々

下着メーカーや伝統織物会社

新型コロナウイルスの感染拡大でマスクが不足するなか、九州にも長時間付けても痛くならないように、柔らかい素材を使った。インターネットサイトで1枚

1680円から販売している。紙パッケージの型メーカーは、マスクの型を無償で公開する。福岡県も緊急事態宣言の対象地域になるなどかつてない状況となっているだけに、技術を生かして社会に貢献する。下着も一緒。使命だと思っ

女性用下着メーカーの渡辺商店(名古屋市)は長崎県佐世保市にある2つの工場で、布製マスクの生産を始めた。外部の協力メーカーなどと合わせ、1日約1千枚を生産する。

2月に取引のある化粧品メーカーから売り場での接客時に必要と依頼があり、生産に踏み切った。下着に使う肌心地のいい綿生地を使い、ブラジャーのトップを形作る縫製技術を成型に

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも

「肌着という点ではマスクも



渡辺商店は長崎県佐世保市の工場です。マスクの生産を始めました。

九州・沖縄
拠点

いなりずしを作るのに欠かせない油揚げ。オーケー食品工業は業務用味噌油揚げで国内トップシェアだ。本社に併設する甘木工場(福岡県朝倉市)では油揚げの形や厚さ、味を地域の特性に合わせて変えている。2021年には自動化やAI(人工知能)に対応した新工場を近くに建て、人手不足に対応した生産ができるようにする。

大分自動車道甘木インターチェンジから車で5分。工場に入ると「カー」と豆乳をかき混ぜる機械音が響く。同工場では毎日、約135万枚のいなりずしに使う油揚げを生産している。倉庫には1トずつ袋に入った原料の大豆が積み上げられ、1日で30袋を使う。

油揚げ作りはまず、豆腐を作ることから始まる。水に浸した大豆をつぶして豆乳を作り、凝固剤を入れて固めたものを

紙の箱の型を打ち抜く「抜き型」メーカーのモリサキ(福岡県久留米市)は3月から、布を刃物がついた型に押し当てるだけで簡単にマスクが作れる抜き型の図面データなどを公開している。